

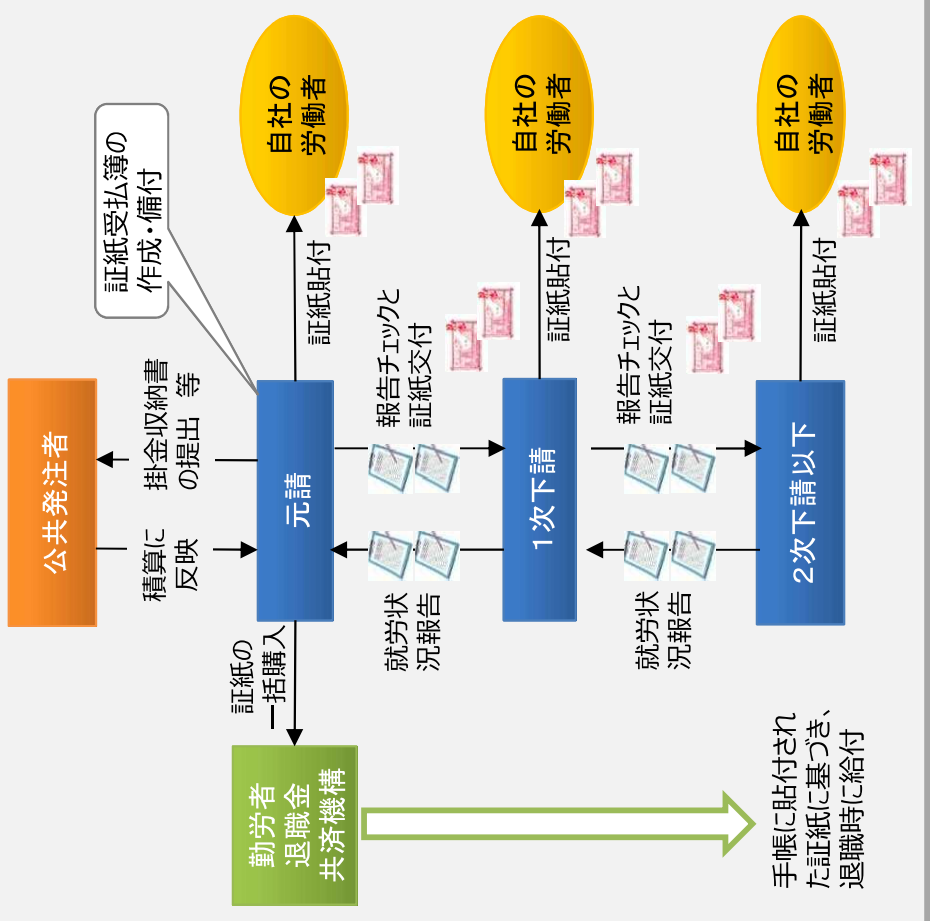


# 建退共のCCUS活用への完全移行

令和3年度から、技能者本人自身がCCUSに蓄積した就労履歴データを活用した電子申請を本格実施し、令和5年度からCCUS活用に完全移行することで、対象労働者の就労実績を漏れなく建退共退職金の掛金充当につなげ、透明性も向上させる。

## 現行方式(証紙受払の書面管理)

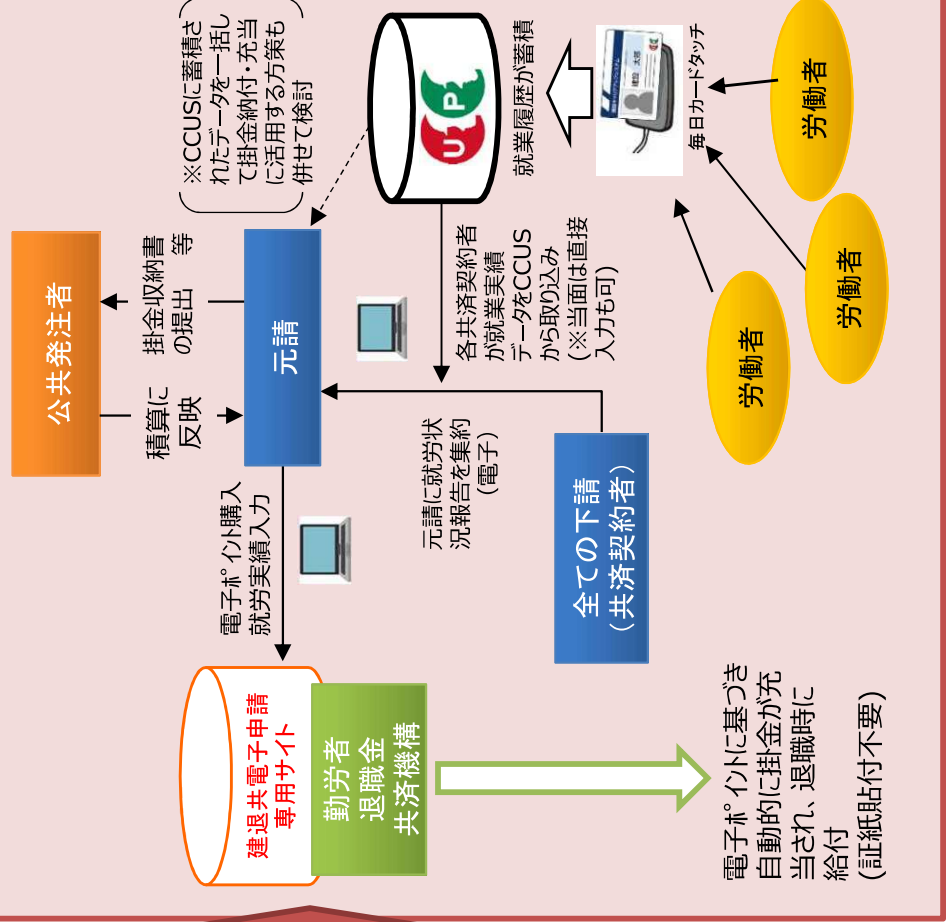
- 現行の証紙方式**では、数次の下請に雇用される**一人一人の技能者への証紙の確実な交付・貼付には限界**があり、充当状況も正確に確認できないため、公共工事の積算で財源措置されていないながら、**掛金充当が不徹底**
- 民間**工事で働く労働者への**掛金充当はさらに不徹底**



## 順次移行を促進

## CCUS活用電子申請方式

- 対象労働者の就労実績を確実に掛金充当につなげるため、**カードタッチでCCUSに蓄積された就業実績を掛金充当に活用することを原則化**
- 令和3年度**から電子申請を本格実施し、**公共工事での活用を徹底**しつつ、**令和5年度**からは**民間工事も含め、CCUS活用に完全移行**



## 電子申請導入のメリット

- ①**技能者の掛金充当の実感が高まる(タッチ=掛金)**
- ②**証紙購入、交付貼付が不要**
- ③**受払簿等の書類が不要・充当書が自動作成**
- ④**就業状況報告をメールで元請に直接提出可能**
- ⑤**CCUSデータで就業状況報告書を自動作成**